

《 M R I 造影用 》

(患者様用)

M R I 用ガドリニウム造影剤の注射に関する

インフォームドコンセント(説明書)

《 副作用の程度と頻度について 》

ガドリニウム造影剤は比較的安全なお薬で、重篤な副作用は約 1.9 万人に一人、死亡例は約 83 万人に 1 人とされています。

当院では、副作用としては、現在までのところ蕁麻疹や悪心・嘔吐など軽いものばかりで、重篤な副作用や死亡例は経験していません。

	1) ヨーロッパ	2) アメリカ	3) 日本	4) とりで医療センター
調査例数	13,439 例	15,496 例	8,009 例	5,695 例
副作用件数 (胃部不快・痒み・蕁麻疹 等)	196 例	372 例	105 例	3 例
副作用発現率	1.5%	2.4%	1.3%	0.05%

¹⁾Niendorf,H.P.et al.:Eur.J.Radiol.1991;13:15 - 20

²⁾Nelson,K.L.et al.:Radiology 1995;96:439 - 443

³⁾日本シェーリング社内資料：マグネビスト使用成績調査結果より

⁴⁾1998 年 5 月～2005 年 12 月

また、以前造影剤で具合が悪くなったことのある方、アレルギー体質の方、気管支喘息と診断されたことのある方、腎臓の機能が悪い方、などは副作用を生じる可能性が高くなることが知られています。

《 副作用が発生した場合について 》

副作用が発生してしまった場合には、適切な処置を行います。当院の医師、看護師、放射線技師は副作用発生時の対処法について訓練を受けております。極めて稀ですが、重篤な副作用の場合には院内の医療スタッフを総動員する緊急時システムが確立されています。もし、帰宅後などに具合が悪くなった場合には、すぐに下記までご連絡下さい。

連絡先： JA とりで総合医療センター 電話 0297 - 74 - 5551

平日 8 : 30～17 : 00 、第 1・3 土曜の 8 : 30～12 : 30

上記以外の曜日や時間帯

放射線部受付 内線 1246

救急部

内線 1208

《 費用について 》

費用は総額で 40,000 円前後、保険診療上、負担額はこの金額の 1～3 割となります。なお、検査内容によっては多少上下します。